

ぶらり地元散策
その4

さてさて、今回も地元の神社仏閣探訪にお付き合いください。

手元の資料にある川崎区内の神社15か所、仏閣29か所の44か所を約3か月間で探訪し終え、改めて区内には歴史ある社寺が今に残されていることを知りました。(合掌)

今回は大師地区をご紹介します。

大師駅周辺には若宮八幡宮、川崎大師平間寺、明長寺、千蔵院、中瀬大師稻荷神社等がありますが、今回は若宮八幡宮にスポットをあててみました。

大師駅前の道路左手には川崎大師の参道が、そして道路正面を渡った病院の隣に在るのが若宮八幡です。

若宮八幡宮は、仁徳天皇の淀川治水工事の実績から大師河原干拓の総鎮守として、仁徳天皇を祭神として祀られています。

境内社としては「かなまら祭」で知られている金山神社の他に、藤森稻荷神社、巖島神社、大鷲神社が祀られていて、また境内には郷土資料館と若宮幼稚園が併設されています。

氏子区域はおおむね、浅野町 池上新町 池上町 伊勢町 浮島町 江川 駅前本町 扇島 大川町 川中島 観音 小島町 塩浜 白石町 昭和 鈴木町 田町 大師駅前 大師河原 大師本町 大師町 台町 千鳥町 出来野 殿町 中瀬 東扇島 東門前 日ノ出 藤崎 水江町 夜光 四谷上町 四谷下町 となっています。

何と云っても、この若宮八幡宮を有名にしているのは4月第一日曜の「かなまら祭り」ではないでしょうか。近年ではネット上でも話題になり、外国人観光客も多く見受けられるようになりました。

「俗称かなまら様と呼ばれ、加治屋と性の神とされる。大正時代に現在の京急川崎大師駅東踏切付近から当社境内に御遷座。伊邪那美命が火の神カグズチをお産みになり下半身に大火傷を負った時、この二柱の神が看病したとの伝説によりお産、下半身の病気の守護神ともされた。またこの神は鞆(ふいご)祭の神でもあり、鍛冶職人や金物を扱う会社等により、毎年神前にて祭事(鞆祭)が行われる。また川崎宿の飯盛り女たちからお金を造る神、性病除けの神として信仰され、現在では子授け、夫婦円満、商売繁盛の神としても全国から信仰を集めている。祭礼には御神体(男根)摸った神輿を担ぎ出し、面掛行列などが行われる。」(以上、ウィキペディアより引用)

参拝者の多くは平間寺(川崎大師)へ向かいますが、時間に余裕があるようでしたら金山神社社殿で柏手を打たれては如何でしょうか。

夫婦円満の神様でもありますので、境内の絵馬殿にはなんと微笑ましく涙ぐましい絵馬、そして立派に振り返った御神体は一見の価値がありますぞ！

散策人：当会役員「S」

